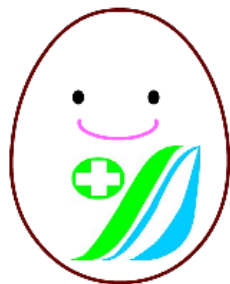


Nurse Education Newsletter

考える看護を实践しよう



Aug. 2019

突然ですが、みなさんは「精神科看護の技術とは何か？」と聞かれたら、どう答えますか？精神科看護は他科の看護と比べると目に見えない分、わかりにくいという点があります。他科には客観的なデータが数多くありますが、精神科では客観的なデータが乏しく、対象者によって表現も異なります。症状を正確に捉えることがとても難しいということ、そして何よりも対象者の内面で起こっている、目に見えない「精神・心・内的体験」を扱っているからと考えられます。これを科学的に扱う技術「MSE」をご紹介します。

精神科看護における唯一のデータは、看護師自身が観察し記載した看護記録になります。ただ、「精神・心・内的体験」自体は目に見えないので、対象者を丁寧に観察して慎重にアセスメントしなければ記載することはできません。そして、質の高い記録を記載するためには、憶測や感情移入ではなく、事実に基づかなければなりませんし、対象者が発した言葉は聞き漏らすことなく、書き漏らすことなく、ありのままに記載しなければなりません。そのために行なうことが「傾聴」です。この「傾聴」ができてはじめて相手の気持ちを理解し、相手の苦悩を感じるという「共感」と「同感」に至ることができます。

また、他科ではクリニカルパスや病期によって、行うべき看護が決まっていることが多くなっています。しかし、精神科看護には対象者と共に考え、看護計画を共有することや自己決定支援といった、他科ではあまり見られない看護があります。

このように、目に見えない「精神・心・内的体験」を扱っていることに精神看護の専門性があり、目に見えない「精神・心・内的体験」を目に見える形（記録）にすることや、対象者と共に考え看護計画を共有し、自己決定を支援することこそ、他科に誇るべき卓越した精神科看護の技術と言えるのではないのでしょうか。

引用・参考文献

武藤教志(2017). 他科に誇れる精神科看護の専門技術 メンタルステータスイグザミネーション Vol.1. 精神看護出版

<看護教育科>

業務内容：院内研修の管理・講師、院外研修に関わる相談、看護研究指導、精神科看護実習調整・指導、看護実践に関わる相談、看護キャリア相談、倫理的な葛藤事例相談 etc.

☆困っていることがあれば、個人でも病棟単位でも誰でも何でも、一緒に考えましょう。